

マレーシアの事業拡大

ワンストップでサービス提供

製造装置商社・マス商事のマレーシア法人「マストレーディング マレーシア」（中馬孝太郎ダイレクター）は、装置提案からメンテナンス、生産性向上支援までのワンストップでのサービス提供を強みに実績を拡大している。今後もエンジニアの増員やレベルアップを推進し、さらなる事業拡大を目指す。

同法人は、マレーシア国内のモノづくり企業向けに、様々な生産設備や周辺機器の組み合わせによる最適な生産システムを提案を行う。同法人にはエンジニアも配置され、装置提案からメンテナンスのMD（マネージング・ダイレクター）を兼務する中馬ダイレクターは、「装置の販売・設置に加え、エンジニアが技術サポートを行い、ユーザーのスムーズな生産を立ち上げるためのサポートを心がけている。エンジニアの研修にも力を入れており、全ての拠点で同一品質、同一技術を提供できるのが強み」と説明する。



マレーシア法人の中馬ダイレクター

同法人は1996年に設立され、自動車関連やAV機器関連、半導体・電子部品関連などの顧客向けに、生産設備・周辺機器を供給



マス商事のマレーシア法人新事務所が入居するビル

する。同社グループのインドネシア法人「P.T. マストレーディング インドネシア」のMD（マネージング・ダイレクター）を兼務する中馬ダイレクターは、「装置の販売・設置に加え、エンジニアが技術サポートを行い、ユーザーのスムーズな生産を立ち上げるためのサポートを心がけている。エンジニアの研修にも力を入れており、全ての拠点で同一品質、同一技術を提供できるのが強み」と説明する。

状況が継続し、その後一時的に需要が鈍化した。19年に入って再び設備投資需要が活発化している。中国からの生産移管も見られているため、今年は例年以上に設備の販売をサポートできている」と話す。

マレーシア法人の顧客は、自動車関連、AV関連、デバイス系などが多い。同法人は今年7月末に事務所を移転し、現在は旧事務所の約2倍のスペースの新事務所を業務を開始している。「エンジニア増員のため、以前よりスペースが広く、かつ利便性の良い場所に事務所を移転した。最近のマレーシアは車載、オートイオ関係の生産が増産傾向にあり、中国からの生産移管なども20年に向けて増えていく見通しのため、エンジニアの増員を進め、今後も事業を伸ばしていきたい」（中馬ダイレクター）。

00年設立のインドネシア法人は、自動車・

二輪車関連や民生用電子機器、FA関連などの顧客向けに、装置販売・据え付けからメンテナンス、生産性向上サポートなどの各種サービスを行う。「インドネシアも人件費が上昇しているため、省人化・自動化へのニーズが強い。これらのニーズに対し、最適な提案をしていく」（中馬ダイレクター）。

18年はインドネシアでプライベートセミナーを開催したが、今年11月頃にマレーシアでのプライベートセミナー開催を予定している。日本から最先端の専門家などを講師に招き、顧客に最新情報を提供する。このほか、独自のキャンペーンなども展開する計画。

両法人では、今後もエンジニアの増員を進めるとともに、エンジニアのレベルアップのための研修などにも継続的に取り組む。

同社グループのAS E.A.N拠点は、インドネシア、マレーシアのほか、シンガポール、フィリピン、タイ、ベトナムに開設され、インド拠点も開設済み。